

8 日本語で面接を受ける

1 次の会話を聞いてみましょう。



ここでは、どんなインターアクションがいいかを考えてもらうために、同じ場面、同じ人物による会話 A（うまくいかなかった例）と会話 B（うまくいった例）の 2 つの例を提示しています。

(1) 【場面】を理解する

- 学習者に【場面】を読ませて、誰（＝メーリン）が、どこ（＝学校のある教室）で、何をしている状況（＝面接を受ける）なのかを学習者に正確に理解させます。
- 必要に応じて、「メーリンさんは何の面接を受けますか」「メーリンさんはどこで面接を受けますか」などの質問をして、学習者の理解を確認するといいいでしょう。

(2) 会話 A・会話 B を聞く

- まず、会話 A を聞きます。ここでは、会話のスク립トを読んだだけではわからない話し方（話すスピード、トーンなど）にも注目してもらうため、1 回目は会話のスク립トは見ないように学習者に指示します。ただし、p. 150 の 3 枚の絵は内容の理解を助けるので、必要に応じて見てもいいことにします。
- 次に、会話 B を聞きます。会話 B は会話 A とまったく同じ登場人物と同じ場面です。うまくいった例を挙げています。ただし、会話 B はモデル会話ではなく、あくまでも 1 つの例として考えてください。（会話 B の会話スク립トと英語の翻訳は別冊にあります。）

(3) ペアやグループで気づいた点を話しあう

- 学習者が気づいた会話 A・会話 B の違いを p. 151 の記入欄（「会話 A・会話 B を聞いて、気づいたことを書いてください。」）に書いてもらいます。まず、各自で考えてもらい、その後、ペア／グループで気づいた点を話しあいます。
- 日本語で表現するのが難しい場合は、まず、母語で書いてもらってもいいでしょう。
- 気づいた点が出てこない場合は、会話 A のスク립トの気になる部分に線を引き、「なぜ気になるのか」「自分だったらどのようにするか」などについて考えてもらうと、具体的な点が出てきやすくなります。
- ここでは、次のような点に学習者が気づくことが期待されます。

会話 A の問題点	会話 B のいいところ
<ul style="list-style-type: none"> ・面接の先生に対して馴れ馴れしい。 ・「はい」という返事は、面接のようなオフィシャルな場面にふさわしくない。 ・応募した理由を聞かれているのに、それには答えずに名前と趣味を答えている。 ・自己紹介も「名前と趣味を言って、よろしくお願ひします」といういつもと変わらない自己紹介。奨学金の面接にふさわしくない自己紹介をしている。 ・面接官の質問がわからないとき、黙り込んでしまった。 ・応募理由を聞かれて、「奨学金が欲しいから申し込んだ」と答えている。面接官が知りたいのはそのような応募理由ではない。 ・面接が終ってもドアを出るまでは面接の過程なのに、もらえるかどうかを聞いているのはおかしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋に入るとき、座るとき、部屋を出るときに「失礼します」と挨拶をしている。 ・自分の名前を言って、挨拶をしている。 ・面接官の質問にもはきはきと答えている。 ・どうして奨学金を受けたのか、という質問に対して、その理由を答えている。 ・会話 A に比べると会話 B のメーリンは落ち着いた声を出している。 ・面接が終ったあと、「ありがとうございます」「よろしくお願ひします」などの挨拶をしている。

(4) ペアやグループで気づいた点をクラス全体で出しあう

- 各ペア／グループの代表者に、気づいた点を 1 つずつ挙げてもらいます。
- 「会話 B の会話のほうがいい」など、大まかな指摘しかなかった場合、「どうしてそう思いますか」などと質問し、具体的な点を出すよう促します。
- ここでは気づきを促し、PART 2 以降の学習への動機を高めるのがねらいです。上に挙げた（気づきが期待される）点のすべてを学習者から出してもらう必要はありません。また、「会話 A の〇〇のほうがいい」など、教師が期待していない答えが出てくることもあります。学習者に自由に意見を述べてもらうようにしましょう。
- PART 2 <インターアクションのポイント>が終ったあとに、もう一度会話 A と会話 B を聞くと、インターアクションのポイントが明確になり、効果的です。

【補足】

ここでは、会話 A・会話 B では、メーリンが知っている先生が面接をするという設定にしています。日本語は、相手との関係以外にも、場によって文体を使い分けるということは、学習者からはなかなか出てこない点です。この場面で触れるか、PART 2 <インターアクションのポイント>が終ったあとに触れるなどしてください。